

平成23年8月29日(月)
No.22
江戸川区立第六葛西小学校
校長 伊藤辰久

江戸川区西葛西4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510
メールアドレス: kasai6s@EDOGAWAKU.ed.jp

読書の好きな子供たちに

『読書月間』が始まります

9月5日～9月30日

「読書月間」が始まります。子供たちにたくさん読書をしてほしいという願いから毎年行っている取り組みです。期間は、9月5日(月)～9月30日(金)までです。具体的な取り組みは、下記の通りです。学年によって独自の取り組みもあります。

「ゲームやマンガだって物語と考えれば、子どもは物語が好き。だから活字を読む煩わしささえクリアできれば、本をたくさん読むはず」――。これは子どもたちに大人気シリーズ「ズッコケ三人組」の作者、児童文学作家の那須正幹さんの言った言葉です。本当にその通りですね。読書は少々根気のいることでもあります。ゲームやマンガに引っ張られてしまうことも理解できますが、子どもたちが読書に集中できる環境を整えていくことがとても大切です。

「読書月間」の主な取り組み

- 1、全校一斉朝読書
 - ・朝自習を朝読書の時間とする
 - ・職員朝会を減らし、先生も一緒に朝読書
- 2、本の紹介活動
 - ・先生の「お気に入り」の紹介・展示
- 3、読み聞かせ
 - ・読書ボランティアの方の読み聞かせ
 - ・担任先生の読み聞かせ
 - ・図書委員会の子たちの読み聞かせ
 - ・児童朝会で校長先生の読み聞かせ
- 4、本の樹づくり
 - ・全校児童による好きな本の1冊の紹介を葉っぱに書いて、クラスの木の枝に掲示
- 5、親子読書
 - ・家庭で親子読書タイムをお願いします
 - ・読書カード、読書一言感想文作成

学校では「読書活動応援団」の方のお力もお借りして「読み聞かせ」や「図書館整備」などの読書環境を整備してきました。

子どもは決して読書が嫌いではありません。読書の楽しさを感じられるようにしていくことが何よりです。

子どもが読書を好きになる条件として、まず、情景が浮かびやすいこと。次に、主人公の顔が見え、主人公と一緒に物語の世界を駆けめぐるができること。そして、しっかりとしたストーリーとスピーディな展開、読んで元気が出るなどがあげられます。

「読書が楽しい」という子どもたちが一杯になることを願っています。特にご家庭では『親子読書』にご協力をお願いします。

漢字能力検定頑張りました

6月4日(土)、本校を会場にして実施した漢字能力検定の合格者を紹介します。

5級

秋山 陽菜さん(6年)	斉藤 公那さん(6年)	橋本明香里さん(6年)
四谷 美由さん(6年)	和田 拓郎君(5年)	加固茉莉花さん(4年)

6級

宇佐美夏希さん(6年)	菅野 玲央君(6年)	余 慧舟君(6年)
青木 幹君(6年)	神谷 純さん(6年)	小島 大弥君(6年)
大西 哲平君(6年)	高橋 卓也君(6年)	山形 佳奈さん(6年)
内田 未有さん(5年)	風間 岳土君(4年)	
中山 祐美さん(6年)	(別の会場にて検定)	

7級

清野 麻衣さん(5年)	松本 柊也君(5年)	金子 響哉君(5年)
寒水 慶佑君(5年)	三浦 真愛さん(5年)	池田 遥音さん(4年)
池田 拓人君(3年)	矢井光太郎君(3年)	山本 悠貴君(3年)

8級

伊藤 郁さん(4年)	鏡 幸太君(4年)	田中 利玖君(4年)
石田 治輝君(4年)	奥野きよかさん(4年)	小島 永遠君(4年)
岸本 亮平君(4年)	小谷 紗良さん(4年)	宇佐美智世さん(4年)
今 由衣さん(4年)	平林 大樹君(4年)	百田 圭吾君(4年)
井原 千尋さん(4年)	内田 颯太君(4年)	児玉 開君(3年)
岩谷 賢治君(3年)	金子 瑛香さん(3年)	日野 竜太君(3年)

9級

奥野ゆいかさん(3年)	小島 大空君(3年)	三石 航希君(3年)
井上 隼君(3年)	小川 采美さん(3年)	齋藤 新太君(3年)
澤野 浩加さん(3年)	清水 花凜さん(3年)	藤本 真帆さん(3年)
森居 太壱君(3年)	板橋 涼君(3年)	土田 羽桜さん(3年)
西田 昇永君(3年)	早川光太郎君(3年)	涌井大地良君(3年)
及川 大晴君(2年)	杉浦 愛梨さん(2年)	杉山 諄君(2年)
藤田 実佑さん(2年)		

10級

飯塚 涼夏さん(2年)	伊東龍之介君(2年)	小谷 逸斗君(2年)
西田 圭李さん(2年)	服部 由芽さん(2年)	浜島佐和子さん(2年)
村中 鉄平君(2年)	岩下 太一君(2年)	梅木 陸君(2年)
森田壮一郎君(2年)	青木 新君(2年)	岩崎 寛知君(2年)
斉藤 あやさん(2年)	津雪 陽向さん(2年)	野口 実玖さん(2年)
久野 竣平君(2年)		

第2回漢字能力検定は、11月5日(土)です

平和について考えられる人間に

第31回原爆犠牲者追悼式（7月17日）

7月17日（日）、葛西区民館4階ホールで「第31回原爆犠牲者追悼式」が行われました。

葛西区民館に隣接した滝野公園には、江戸川区が建立した「原爆犠牲者追悼碑」があり、碑には本校の子供たちも毎年献納していますが、たくさんの「千羽鶴」が献納されています。碑の周囲には「平和の鐘」や広島市と長崎市からの寄贈の「原爆瓦の碑」と「両市の木」などがあり、また、江戸川区により造られた「噴水」は、業火の中水を求めて亡くなられた犠牲者を悼むものとされています。

「追悼式」は、被爆者の方々、多田正見江戸川区長をはじめ、江戸川区議会議長、区議会議員、各界各種団体、個人の方々が参列され、被爆されて方々への追悼と「原爆許すまじ」の決意を新たにす「式」となりました。

「次の世代へ引き継ぐ」発表では、小・中・高等学校生の代表がそれぞれ取り組んだことや考えてきたことを発表し、小学生代表として本校の伊田有亜さんが選出され、6年生の授業の中で学んだことやみんなの感想を含めて発表しました。伊田有亜さんが「追悼式」で発表した内容を紹介します。

当日会場配布のしおりでは多くの子供たちの「感想」が紹介されていますが、「発表」では、時間の関係で二人の感想が伊田さんより紹介されました。



（「追悼式」で発表する伊田さん）

原爆犠牲者追悼によせて

第六葛西小学校6年

伊田 有亜

はじめに

原爆犠牲者追悼の碑のある滝野公園は、第六葛西小学校の学区内にあります。わたしは幼稚園の時から公園の中の碑と千羽鶴を見てきました。小さい頃は何のためのものかわかりませんでした。小学校に入学し鶴を折るようになり、だんだんと意味がわかるようになってきました。第六葛西小学校では、1年生から6年生まで7月になると鶴を折り始めます。原爆犠

牲者追悼の碑に捧げるためです。今年は授業で原子爆弾や戦争について学習し、鶴を折りました。

みんなの感想より

○ 戦争と平和【伊田有亜】・・・私は今回、原爆について学び、あまりの恐ろしさに驚きました。たった一つの爆弾で広島が焼け野原になってしまったり、原爆のあまりの高温に皮ふがただれてしまったり、放射能によって白血病になってしまうという事を知った時、原爆を落としたアメリカに対する怒りと広島と長崎の人達に対する悲しみがこみ上げてきました。私達の学校では、数年前から千羽鶴を折っています。今年も、一羽一羽、世界の平和を祈りながら、そして、被爆して亡くなった方々のご冥福を祈りながら鶴を折りました。この想いが届くとうれしいです。私が大人になる頃には、世界から戦争がなくなり、すべての人が安心して、幸せに暮らせる世の中になっているとうれしいです。

○ 戦争はなぜ起こったのか【平山泰地】・・・ぼくは、広島原爆と戦争について学び、なぜ人々は戦争をするのだらうと考えました。太平洋戦争中の1945年8月6日、8月9日と日本に原爆が落とされました。もちろん、落としたアメリカもひどいと思いますが、まずいけないのは人々が戦争を始めたことだと思います。戦争を支持した人もいるかもしれないけれど、戦争に反対した人だっているのです。そんな人たちまでも「国を発展させるため」「国の領土を増やすため」に犠牲になったのかと思うと悲しくてたまりません。人間という生物は高い知能をもっています。そのために欲が出る、その欲が大きくなることで殺し合う、それはとても悲しいことだと思います。また、戦争によって知恵をしぼり、発展していくのなら発展しない方がいいと思います。そして、今の日本は平和だということ、平和というものはとても素晴らしいことだと改めて痛感しました。戦争という過ちを二度と起こさないためにも、伝えていかないといけない、また、自分達もその中の一つのつなぎ目とならなければいけないと強く思いました。

おわりに

わたしたち6年生は今、歴史の学習をしています。過去の出来事やその時代に生きた人々のことを学び、今の生活やこれから起こる出来事について考えられるように。わたしは、広島と長崎に原爆が落とされたという事実を絶対に忘れず、平和について考えられる人間になりたいと思います。